

ゆうあい

あなたがいて、わたし、がある。

DECEMBER 2023

12

vol.570

特集

ギャラリー
ゆうあい



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

バスロゴデザイン画

加藤 綾子 Katou Ayako

函館青年寮通所部・にじ

10月、後援会さまのご支援をいただき、にじに新しいバスが納車されました。念願のバスだったので、みんなのバスにしたいと思いました。車体のカラーも保護者の方や職員の投票で決め、ロゴマークに虹色を施すのも、みんなのアイデアのなかから決めました。みんなが色つけに参加することで出来た、世界に一つだけのロゴマークとなりました。





社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

施設長に就任して

ねお・はろう

上川 孝一



今年度より、ねお・はろう園長に就任しました。20年ほど前、ねお・はろうの前身である第二おしま学園の支援員として入職し、今日に至ります。私には自閉症と知的障がいのある姉がおり、物心つく前から障がいのある方々と関わってきました。私にとって障がいのある方々はとても身近な人たちで、特別な人という認識はありませんでした。姉は時々びっくりするようなことをしました。普段は好きな絵を描いたり、音楽を聴いて穏やかに過ごしていましたが、時々困った行動がありました。例えば、外出先で叫び声を上げる、家の窓ガラスを叩き割る、無断で外出して保護されるなどの色々なエピソードがあります。そういった行動は「問題行動」や「不適応行動」等と表現されます。しかし、それは周囲の人たちから見た表現の仕方であり、本人にとっては意味のある行動であるということを、以前参加した研修で学びました。そのような行動のことを欧米ではchallenging behavior (チャレンジング行動)と表現しています。チャレンジング行動とは「挑戦する」という意味ではなく、「正しい対応を要求する行動」「環境に対応できていないことを訴えている行動」ということを意味します。周囲の人たちにとって「困った行動」は、その人にとって「困っていることを表現する行動」ということです。自分が困っている状態にあるということにそもそも気がつくこと自体が難しい方も少なくありません。また、困っていることに気がついていても、話し言葉がないことで相手がわかるように手助けを求めることが難しい場合もあります。ねお・はろうを利用する方の多くにチャレンジング行動があります。そのため、私たちは日常生活の中で、作業活動の中で、外出先で、利用者の方々が得意なこと、苦手なこと、上手にできること、お手伝いが必要なこと等の一つひとつ確認して、その情報をもとに支援計画を立てていきます。支援計画では個別の支援目標を設定します。目標は、実用性、汎用性、将来性、などといった視点で優先順位をつけるようにしています。

ねお・はろうの前身は、第二おしま学園という障害児入所施設です。平成22年の児童福祉法改正において、入所利用は18歳までという年齢制限が示されました。法人内での検討を経て、成人の入所施設へと認可変更されて今日に至ります。利用者の方々が、おしま学園や第二おしま学園から移行してきたということもあり、平均年齢は36歳と、若く元気な方ばかりです。ねお・はろうでの経験をこれから様々な環境の中で活かせる可能性があります。私たち支援者は、利用者の方一人ひとりの強みを見つけ、伸ばし、その人の今とこれからをサポートすることで、5年先、10年先の将来と一緒に考えていくことを使命として考えています。利用する皆さんが自分らしく地域に根差した生活ができるように、ご家族や地域の方々とのつながりを築き幸せな人生を送ることができるよう、精進してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

七重浜こども園

斉藤 美雪



今年度より、七重浜こども園の園長に就任いたしました。急遽、園長という重責を担うことになり、たくさんの方々に助けられ、支えていただき9か月が経ちました。園長としての在り方に自問自答しながら、身の引き締まる思いで毎日を過ごしています。私が入職したのは、七重浜こども園がまだ保育園で、つくしんぼ学級と本部事務所が同じ建物にあった平成6年のことです。園庭で朝から日が暮れるまで子どもたちと遊んでいました。今でもその当時から働いている職員と思い出話に花が咲くことがあります。懐かしくもあり、自分の原点に戻ることができる機会となっています。その頃、園で流行っていたのがピカピカ泥団子というものです。ふるいを使ってサラサラの土を準備することからスタートし、水を加えて泥団子のかたちを丁寧に整えます。ギュッとにぎり固めて土を足しながら整え、乾燥するため休ませて、やわらかい布でツルツルになるまで磨き上げる工程で、一つひとつ集中しながら何日も時間をかけて宝石のようなピカピカの泥団子づくりを楽しんだものです。保育者も子どもたちと一緒に夢中で遊び、子どもたちと一緒に笑ひ合い、時には子どもたちとぶつかり合って一緒に泣きました。語り切れない楽しさや喜び、そして失敗や挫折もありましたが、たくさんの経験をしました。子どもたちはもちろん、保護者の皆さま、出会ったすべての人たちから学び、保育者としてのやりがいや魅力を教えてもらうことができたからこそ、いま働き続けることができていると私は思っています。

今年度、七重浜こども園は創立70周年を迎えました。9月1日は七重浜こども園の開園記念日です。昨年はコロナの影響で休園していましたが、今年はバルーンパフォーマンスショーでお祝い、キラキラと目を輝かせる子ども達の姿がありました。併せて開催した開園記念こどもまつりは、こちらも数年ぶりにたくさんのご家庭に参加いただきました。70年の歴史を振り返るコーナーも用意し、ご家族の方が卒園児であり前園舎の写真を見て懐かしむ様子、和やかな温かい雰囲気の中嬉しそうなお子たち。笑顔があふれて無事に終えることができ、お祝いできることに感謝の気持ちでいっぱいです。私が入職するずっと前から続いているこの園で、「ひとりひとりを大切に丁寧に寄り添う保育」は入職当時も今も変わっていません。子どもたちが自分自身を表現し、自分らしく生きることができるよう、ひとりひとりの気持ちに寄り添い大切に育てる思いや姿勢です。その頃に通っていたお子さんも、今は七重浜こども園の先生として働いています。きっといつまでも大切にしている思いが引き継がれていくことを願いつつ、嬉しく感じています。新しいことにも挑戦しながら、より良い教育・保育を目指し、職員とともにチームワークを高め、学び合い、これまでの七重浜こども園がこれからもあり続けられるよう努めていきたいと思ひます。



たまご形の照明

ワークショップまるやま荘

夢 製作活動班

牛乳パックの紙と風船を使用しランプを作りました。



Flower of emotion

坂本 陸人 Sakamoto Rikuto

函館青年寮通所部

クーピーで描いた個性的な柄を使い花を制作しました。立体的に表現することで生命を感じられる作品となりました。



雪遊び

ワークセンターほくと

清滝 裕子 Kiyotaki Yuko

子供達とひまわりや桜の絵を描いてきました。今回、冬の絵に挑戦。服装等、イラスト集を参考にチャレンジ。

コースター

ワークショップまるやま荘

製作活動班

下絵が書いてある生地に糸を通し、裏生地を縫い付けました。



十二支

ワークセンターほくと

小山 敦司 Koyama Atsushi

新年に向けて十二支の動物を描きました。動物や植物の写真をしながらボールペンで下絵を描いた後、色鉛筆で1色を薄くしたり濃くしたりと工夫しながら塗っています。



メリークリスマス

あかね寮・いくよ寮のみなさん

侑愛荘

クリスマスが近いので皆さんで製作しました。



色紙の森

十文字 眞喜子 Jumonji Makiko

明生園

色紙で様々な大きさの木を作り、カラフルな森を作りました。大変でしたが楽しかったです。



桜の木

長谷川 裕美 Hasegawa Hiromi

明生園

クラフトパンチで桜の花をたくさん作り、桜の木を作りました。他の色々な木もこれから作りたいです。



ダックスフンド

児玉 志津子 Kodama Shizuko

おしま屋

最初はどこを縫っていいか、わからなかったけど、縫い終わるとかわいくたくさん作っています。



ネコ

能戸 照子 Noto Teruko

おしま屋

ネコの顔がかわいいのでたくさん作りました。



クリスマスツリー

グループホームオリオン

江繁 雅昭 Etsunagi Masaaki

職員と一緒に作品作りに挑戦しました。ハサミを使って、上手にクリスマスの絵柄を切り出すことができていました。



赤い車、黄色い車

サポートすばる

田中 昭司 Tanaka Shoji

車がとっても大好きです。車のレゴブロックの作成に挑戦！説明書を読みながら完成できました。



ダンスアート

高橋 恵美 Takahashi Emi

新生園

本間 佳代子 Honma Kayoko

使わなくなったタンスの引き出しをアートにしました。タンス貯金は出来ないけれど、大きな価値はあります。



キャンドル

尾崎 剛太 Ozaki Gota

新生園

余暇時間の散歩中に、自分の好きな草花を摘んであつめて職員と一緒に作りました。



GALLERY YUAI 2023

ゆうあいを利用される方々の「描きたい」「作りたい」気持ちが伝わってくるような素敵なアート作品が集まりました。



留萌

須田 圭 Suda Kiyoshi

新生園

昭和56、57年、平成8、9、10年の5回行った、留萌の絵です。潮があります。マジックで描きました。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp